

## 令和5年度 第54回千葉県中学校新人バスケットボール大会 総評

第54回千葉県中学校バスケットボール新人体育大会は、11月5日（日）、11日（土）、12日（日）の3日間の日程で、YohaSアリーナ～本能に、感動を。～をメイン会場として開催された。

男子のベスト4には、市原市立ちはら台南中学校（市原）、ノーシードから勝ち上がった八街市立八街中学校（印旛）、銚子市立第一中学校（東総）、佐倉市立上志津中学校（印旛）が名を連ねた。準決勝Aコートのちはら台南 vs 八街は、終始リードを守ったちはら台南が決勝進出。Bコートの銚子一 vs 上志津は、再々延長の熱戦を制した銚子一が決勝進出となった。

男子決勝戦、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々、お互い素速い攻防の切り替えから乱打戦となる。銚子一#8小原がミドルシュート、#10岡田が3Pを決めると、ちはら台南は#7平野のミドルシュート、#4永尾のドライブを中心に応戦。前半はちはら台南が6点リードで折り返す。後半、銚子一#8の勢いが止まらず、立て続けの得点で逆転に成功する。対するちはら台南も#7の3Pで流れを渡さない。第4Qに入り、お互い献身的なディフェンスが目立ち、簡単に流れを渡さない展開が続いたが、残り3分、ついにちはら台南が主導権を握り、#7のドライブからのレイアップ等で点差を広げ、そのまま試合は終了。ちはら台南が初優勝を決めた。

一方、女子のベスト4は、昭和学院中学校（市川・浦安）、船橋市立行田中学校（船橋）、四街道市立四街道北中学校（印旛）、船橋市立宮本中学校（船橋）が顔をそろえた。準決勝Aコートの昭和学院 vs 行田は、行田の選手たちの粘り強いディフェンスやリバウンドの姿勢が光るも、昭和学院が制し決勝進出。Bコートの四街道北 vs 宮本は、接戦の末、宮本が決勝に進出した。

女子決勝戦、昭和学院はオールコート、宮本はハーフコートのマンツーマンでスタート。昭和学院は#7齊藤のドライブからのレイアップや#12宮川の3P、対する宮本は速攻や#7賢木の体を張ったプレー、#14松本の3Pで得点を重ねる。互いに緊張感のある、一進一退の攻防が続く。後半に入っても両者一歩も引かず、宮本は#4小笠原、#12青野の3Pが連続で決まりリードを広げるが、昭和学院はスクリーンからの合わせや、#11薬師寺、#6中野のシュートで対抗。延長戦に突入する拮抗した試合であったが、最後は昭和学院がルーズボール奪取から得点し、試合終了。2年連続23回目の優勝を決めた。

今年度の新人大会は、延長へ突入する試合が多く、実力が拮抗するチームが代表として出場してきた。諸処に選手の良いプレーが見られ、来年度千葉県開催となる関東大会に向けても、千葉県中学生選手の活躍が期待される新人大会であった。最後まであきらめずにプレーし続ける、中学生らしいひたむきな姿勢には観客を魅了するものがあった。

最後に、TO指導や会場準備など、開催地区である千葉支部、市原支部、木更津支部、習志野支部の役員の方、生徒の皆様、支部外からお手伝いいただいた先生方、バスケットボール関係者の皆様のご尽力により大会を無事終えられたことに、心より感謝申し上げます。